

場面① : 10月4日12:00～5日明け方（大雨の前日、何をする？）

☐ どのタイミングで

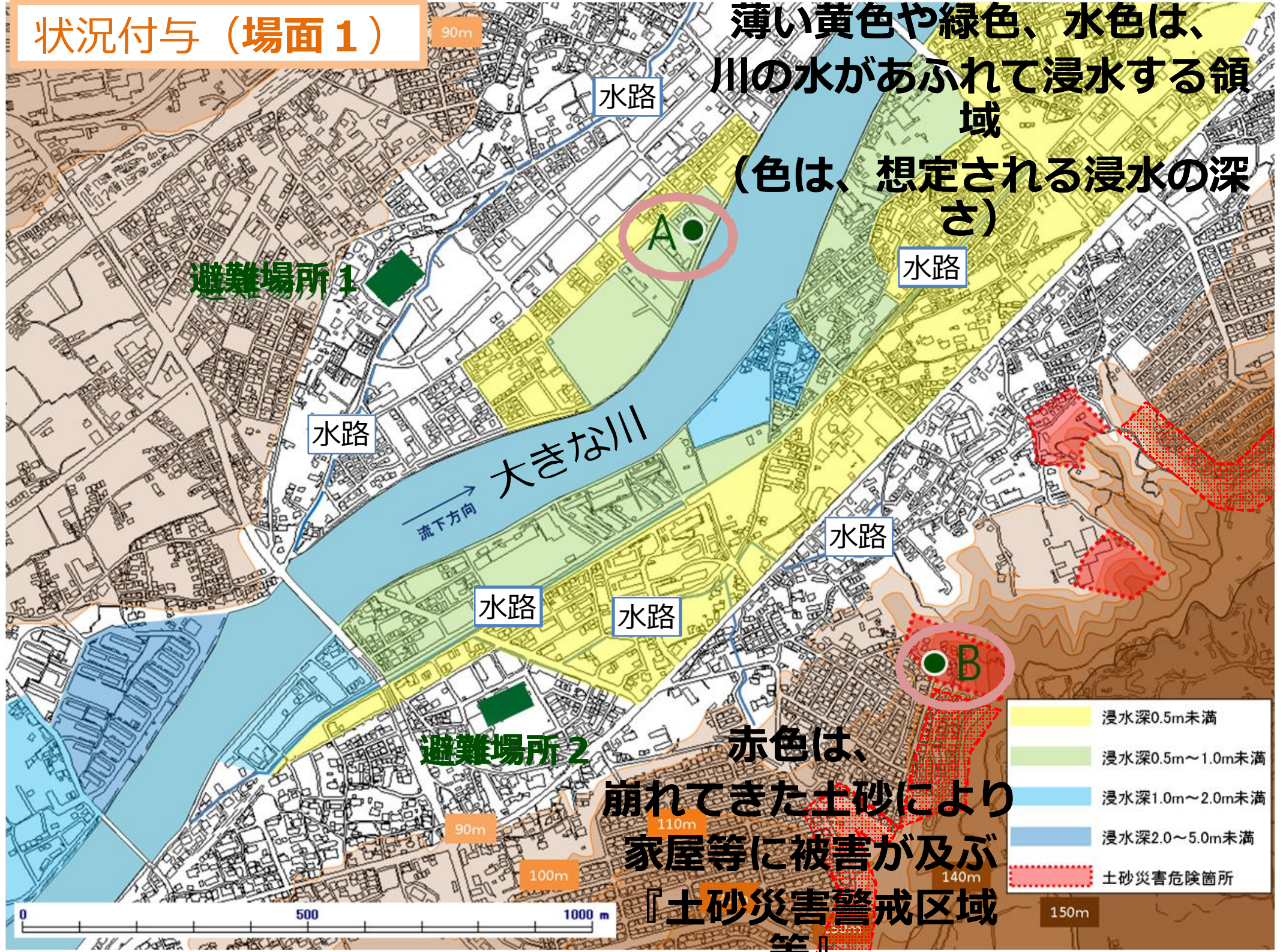
☐ どんな準備を

☐ なぜ？その理由は？

場所・住居・家族

班	場所	住居	家族
①	A: 川のそば	3階建て 鉄骨マンション 1階	父・母・兄・私 祖父(歩行困難) 車あり
②	B: 斜面のそば	木造2階建て 一軒家	父・母・姉・私 祖母(歩行困難) 車あり
③	A: 川のそば	3階建て 鉄骨マンション 3階	母・姉・私 祖母(歩行困難) 車なし
④	B: 斜面のそば	木造2階建て 一軒家	父・母・姉・私 車あり
⑤	A: 川のそば	木造2階建て 一軒家	父・私・ 妹(中学生) 車なし

状況付与（場面1）

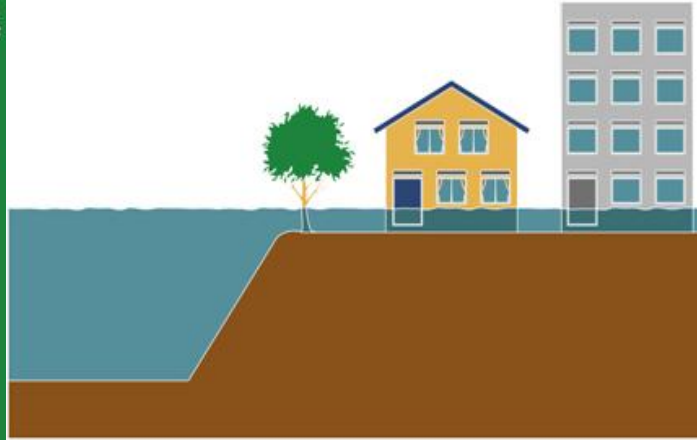


(参考) 水害、土砂災害の起こりやすい場所



あっという間に
水位が上昇し
危険になる川も！

川の高さと同じ高さの場所



川の水があふれると
浸水する！

堤防より低い場所



川の水が堤防を越えると
浸水する！

周囲よりも低い場所



周囲の水が集まって浸水する！

崖の近く



土砂がくずれてくる！

4日（金）昼、ローカルニュース



気象台からは、大雨警報が発表される可能性が高いとして、すでに「早期注意情報」も発表されています。

警戒レベル1：
災害への心構えを高める

前線の活動が活発になるため、△△県では、今夜から雨が降り始め、明日5日（土）昼頃から、明後日6日（日）明け方にかけて、非常に激しい雨が降る見込みです。大雨となるおそれがあるため、低い土地の浸水、土砂災害、河川の急な増水、氾濫などに警戒してください。気象台が発表する警報、注意報、気象情報に十分留意してください。

（日の出：5時30分頃、日の入：17時頃）

(参考) 予報用語

気象庁では、天気予報等において一日の時間細分や雨の強さを下表のように定めています。
基本的に、テレビの天気予報等でも、同じ言葉が用いられています。

◆一日の時間細分

			日中			夜	
午前中			正午	午後			
0-3(時)	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24
未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く
			昼頃				

◆雨の強さと降り方

1時間雨量 (mm)	10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る。	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる		傘は全く役に立たなくなる	
屋内 (木造住宅を想定)	雨の音で話し声が良く聞き取れない	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
車に乗っていて		ワイパーを速くしても見づらい	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる（ハイドロプレーニング現象）	車の運転は危険	